



マイクロレジデンス特別企画

マイクロレジデンス！

アーティスト・イン・レジデンス (AIR) ・マイクロレジデンスからの視点

2012年10月4日(木) - 11月23日(金)

関係者各位

この度、遊工房アートスペースでは、「マイクロレジデンス！-アーティスト・イン・レジデンス (AIR) ・マイクロレジデンスからの視点」として、「マイクロ・ビジョン - マイクロレジデンスを多角的に見る - 」及び「マイクロレジデンス・ディレクターズトーク」を開催します。

マイクロレジデンスとは？

アーティスト・イン・レジデンス (AIR) は、アーティストが滞在制作を通して、創作活動や異文化交流などを行う事業で、国内外に広く存在し、長期滞在型からイベント的なプログラムまで、活動形態や規模も様々です。その中で、小規模 (施設・予算) アーティスト・ランで、インディペンデントに草の根的な活動を行うAIRが「マイクロレジデンス」です。アーティストへのサポートに重点を置き、柔軟な対応と人間関係を大切にすることが特徴です。今日、芸術・文化的な交流を促進しながら成長を続けるこのような小規模レジデンスは、AIR事業に対して新しい方向性を示していると言えるでしょう。AIRをどのように定義すれば良いのか？どのような機能を持ち、また、利点があるのか？これらの問いへの答えは単純ではなく、各AIRの環境、社会的な背景の差異を理解することが重要です。本企画は、「マイクロ・ビジョン」と「マイクロ・レジデンス・ディレクターズ・トーク」を軸に、AIRの可能性や重要な役割を改めて問いながら、「マイクロレジデンス」を多角的に検証します。

「マイクロ・ビジョン」

マイクロレジデンスに関する資料や情報、作家の実体験を紹介する展覧会など、多様な角度からマイクロレジデンスについて紹介します。会期中、遊工房のアーティスト・イン・レジデンスでは、マイクロレジデンスのディレクターを務める3人のアーティストが、アーティストと運営者の両方の立場から滞在活動を展開し、適時、オープンスタジオとして公開します。また、マイクロレジデンス体験のあるアーティストの展示を、体験トークなども交え行います。会期中並行して、アーティスト・トーク、パフォーマンス、ネットワーク事例紹介、交流会などのイベントが開催されます。

「マイクロレジデンス・ディレクターズ・トーク」

『マイクロレジデンス - なぜ今、マイクロか。そのマクロな可能性を問う。』をテーマに、「世界にはどのようなマイクロレジデンスが存在しているか？」マイクロレジデンスの現実と、そのマクロな可能性を考えます。アーティスト・イン・レジデンスをマイクロレジデンスの視点から考えた時、レジデンスの在り方と今後の展開が見えてくるでしょう。会期中盤の10月30日 (午後2-6時)、国内外から様々なマイクロレジデンスのディレクターや関係者らが集い、アートの世界、そしてより広い社会におけるマイクロレジデンスの存在の現実から、将来の可能性を議論します。そして、持続可能な事業の在り方を検討、登壇者と共に、参加者全員が自由に議論に参加する場を設けます。

尚、主催及び会場となる遊工房アートスペースのAIRプログラムは、Res Artis* 会員として10年、アーティストが中心となり独自に運営されてきました。快適な生活と制作の環境を整えることを第一に、アーティストへ最短一カ月、最長6カ月までの滞在制作の場を提供、地域のアートセンター的な活動も並行しており、アーティストの希望により地域活動への参画も行っています。

*Res Artis: AIR活動体の世界規模ネットワーク。アムステルダムに本部を置くNPO/NGOで、加盟機関は400軒を超える。2年に1度の世界総会が、今年10月26日から28日まで、トーキョーワンダーサイト青山をメイン会場に「クリエイティブ・プラットフォームにおける新たな地平、文化の星座—アジア中東とグローバル・ネットワーク」をテーマに開催されます。

この機会に是非ご取材のご検討をお願いいたします。どうぞご高覧下さい。





[開催概要]

タイトル：マイクロレジデンス！

「マイクロレジデンス！-アーティスト・イン・レジデンス（AIR）・マイクロレジデンスからの視点」

会期：10月4日（木） - 11月23日（金）

時間：12時 - 19時（最終日17時まで）

会場：遊工房アートスペース

主催：遊工房アートスペース

助成・協力：文化庁、EU・ジャパンフェスト日本委員会、Res Artis

[問い合わせ]

遊工房アートスペース（担当：村田達彦、太田エマ）

〒167-0041 杉並区善福寺 3-2-10

Tel) 03-5930-5009, Fax) 03-3399-7549, Email) info@youkobo.co.jp

[交通のご案内]

公共交通機関：

- ・ JR中央総武線「西荻窪」北口バス2番「上石神井」「大泉学園」行き「善福寺」下車すぐ
 - ・ JR中央総武線・地下鉄丸ノ内線「荻窪」北口バス0番「武蔵関駅」「北裏」行き「善福寺」下車徒歩一分
- 自動車：青梅街道「善福寺三丁目」交差点南、桃井第四小学校北隣

[企画詳細]

1. 「マイクロ・ビジョン」：マイクロレジデンスを多角的に見る

<マイクロ・レジデンスの体験>

① 遊工房のマイクロレジデンス体験

10/20（土） - 11/4（日） オープンスタジオ（アップメイヤー） + 個展・レジデンス紹介（ゲバラ）

11/10（土） - 11/23（金） 個展（アップメイヤー） + 個展・レジデンス紹介（リトウィン）

会場：スタジオ1又は2

参加作家：

■ ジュリー・アップメイヤー（滞在期間：10/1 - 11/30）

インターアクション／コミュニケーションをテーマに、参加型パフォーマンスやアートプロジェクトを創造。Caravansarai（イスタンブール）を運営。

■ フランシスコ・ゲバラ（滞在期間：10/1 - 11/2）

食材を利用したパフォーマンスを通し人、文化、時代を結ぶ交流を計る。Arequetopia（メキシコ、プエブラとオアハカ）代表

■ アナト・リトウィン（滞在期間：10/24 - 11/27）

主に「Home」というテーマで作品を制作、世界各国で発表。HomeBase（ニューヨーク、ベルリン、テルアビブ）ディレクター



ジュリー・アップメイヤー



Caravansarai - Istanbul, Turkey

② 世界のマイクロレジデンス体験

タイトル：「とても近くに感じる—フィンランドと日本のレジデンスより」

会期：10/4（木） - 10/14（日）

会場：ギャラリー

参加作家：丸山芳子（2008年 KulturKaupila、フィンランド）

松本恭吾（2011年 Art Break、フィンランド）

サラン・ユコンディー（2012年、Studio Kura、福岡）



丸山芳子

タイトル：「土地と共々生きる—イギリス・ポートランドより」

会期：11/10（土） - 11/23（金）

会場：ギャラリー

参加作家：相原正美（2006年 KulturKaupila、2012年 Portland Sculpture & Quarry Trust）

石井隆浩（2012年 Portland Sculpture & Quarry Trust、イギリス）



石井隆浩



youkoboART SPACE

<マイクロレジデンス情報>

① アーカイブ・ライブラリ

全期間中、世界中から集められたマイクロレジデンスの情報を公開。貴重な資料の閲覧や、国ごとの情報を調べることができます。

会期：10/4（木） - 11/23（金）

会場：ラウンジ

② マイクロレ・イントロ展覧会

マイクロレジデンスネットワークの可能性を積極的に求める国内外のレジデンス14軒の「ジオラマ」による紹介です。レジデンスアーティストのJulieの制作によるジオラマは、それぞれのレジデンスの特徴や魅力をより身近に伝えます。さらに、写真、映像、文章による紹介もあります。

会期：10/20(土)~11/4(日)

会場：ギャラリー

参加機関：Caravansarai（トルコ）、Arqueopia（メキシコ）、HomeBase（独、イスラエル、米）、Kultuur Kauppila（フィンランド）、Art Break（フィンランド）、Portland Sculpture and Quarry Trust（英）、Big Ci（豪）、Nha San Studio（ベトナム）、ACOSS（アルメニア）、INSTINC（シンガポール）、Mediaelectronque（ギリシア）、GeoAir（グルジア）、Studio Kura（福岡）、他



Portland Sculpture and Quarry Trust (PSQT) - Portland, UK



Art Break - li, Finland

<関連イベント>

☆10/6（土） オープニング1

- ・マイクロ体験プレゼンテーション（丸山芳子+松本恭吾）
- ・AIRアーティスト活動紹介（ジュリー・アップメイヤー+フランシスコ・ゲバラ）

☆10/20（土） パフォーマンス（フランシスコ・ゲバラ）

☆11/10（土） オープニング2

- ・マイクロ体験プレゼンテーション（相原正美+石井隆造）
- ・パフォーマンス（ジュリー・アップメイヤー）
- ・マイクロレジデンス事例紹介 HomeBase（アナト・リトウィン）



HomeBase - N.Y., Berlin, Tel Aviv



Arquetopia - Puebla/Oaxaca, Mexico

2. マイクロレジデンス・ディレクターズ・トーク

テーマ：『マイクロレジデンス - なぜ今、マイクロか。そのマクロな可能性を問う。』

開催日時：10/30（火）14時~18時

会場：遊工房アートスペース・スタジオ2

参加：無料。30名限定。要予約（info@youkobo.co.jpまで）

第一部：ディレクターズ・トーク（14:00 - 15:30）

世界各地でマイクロレジデンスを運営する5人のアーティスト兼ディレクターが集い、各々のレジデンスの社会的背景や特徴、今後の課題などを、失敗談なども交えながら、ざっくばらんに紹介します。マイクロレジデンスの多様性と具体例を示しながら、その存在をアピールします。



第二部：ラウンド・テーブル・ディスカッション（16:00 - 17:30）

第一部のスピーカーに加え、国内外のレジデンス関係者や支援団体、アーティストが集い、所有者と運営者が等しいマイクロの事業モデル、マイクロの社会的存在意義、日々の現場の活動や悩み、アーティストが運営する利点など、オープンに意見交換します。また、参加者相互の今後の発展的な関係作りを図ります。



参加者：ジュリー・アップメイヤー（Caravansarai、イスタンブール）、フランシスコ・ゲバラ（Arquetopia、メキシコ）、アナト・リトウィン（HomeBase、ベルリン他）、ラエ・ポロティン（Big Ci、オーストラリア）、エイ・コー（New Zero Art Space、ミャンマー）、ジェイ・コー（アーティスト、キュレーター）、原田真千子（インディペンデント・キュレーター）、村田達彦・弘子（遊工房アートスペース、東京）他

